

42730

教科書文庫

4

290.

31-1910.

25000  
32324

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

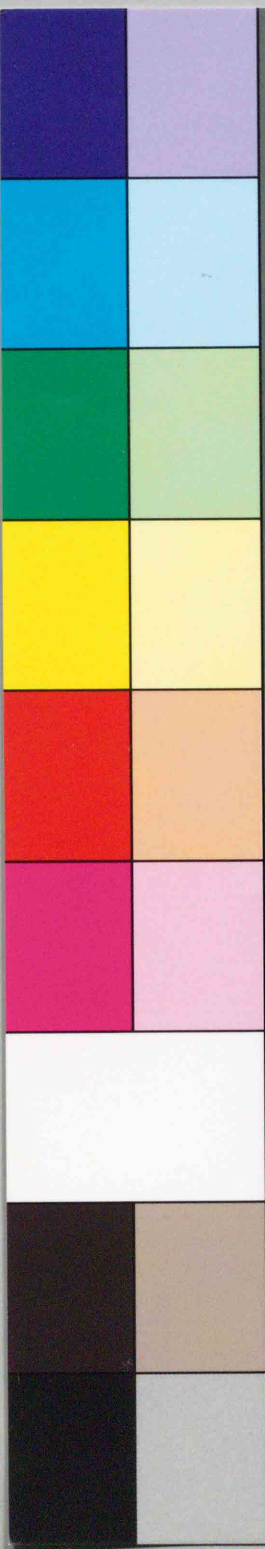
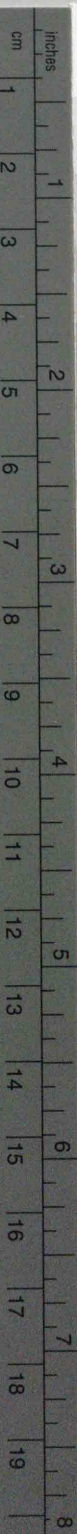


© Kodak 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak 2007 TM: Kodak



文部省著作

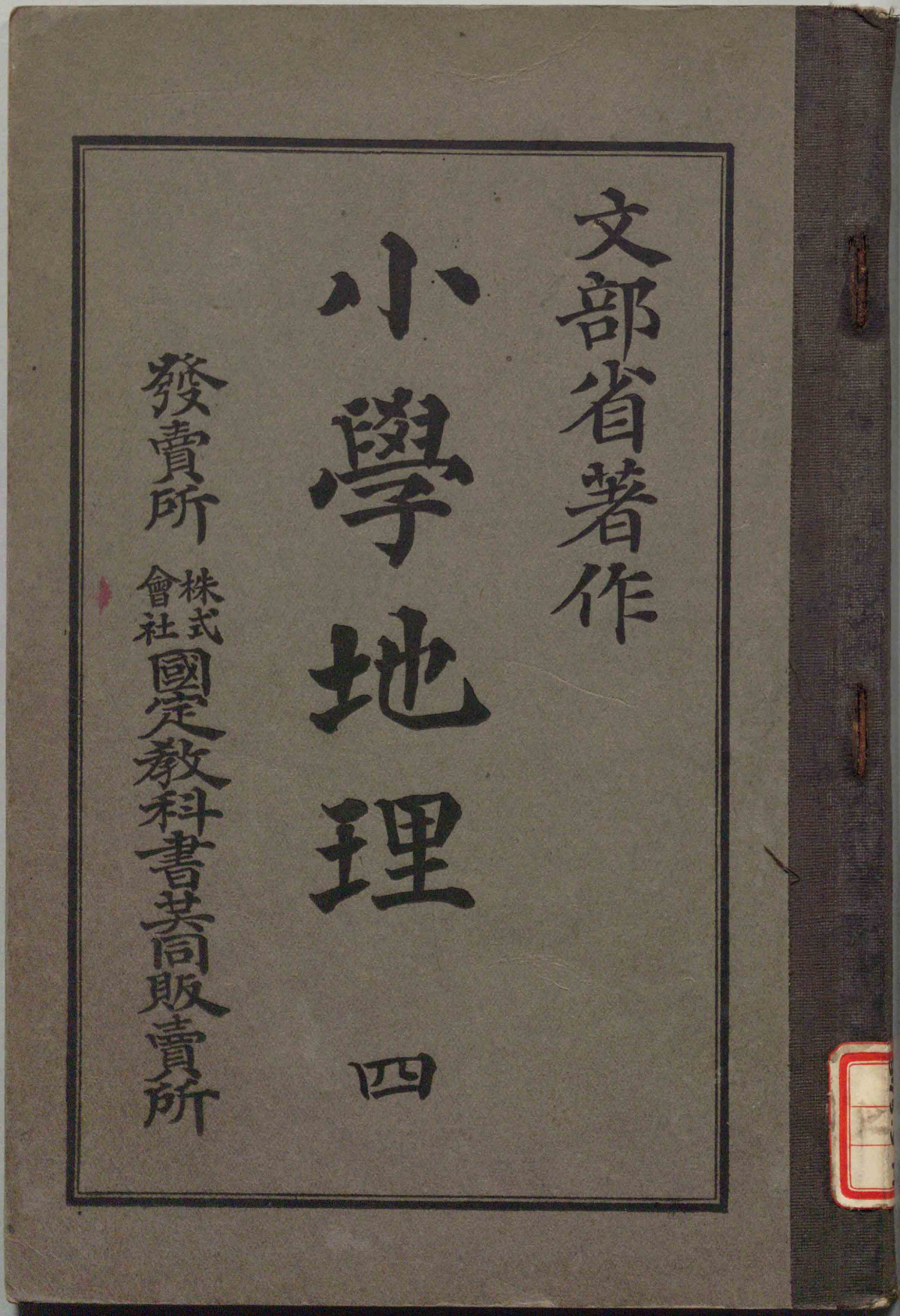
小學地理

四

發賣所

株式會社

國定教科書共同販賣所





文部省著作



學地理

四

登錄番号	
32324	
分	375.9
類	M



發賣所

株式會社  
國定教科書共同販賣所



目録

第一	總論	一
第二	山脈火山 <small>附</small> 地震、温泉	三
第三	河流湖沼	十一
第四	海岸	十五
第五	海流 <small>附</small> 潮汐	十七
第六	氣候	二十一
第七	生物	二十九
第八	人種、人口 <small>附</small> 言語	三十四
第九	政治 <small>附</small> 兵備	四十三
第十	教育神社宗教	五十一
第十一	産業	五十六
第十二	商業	六十五
第十三	交通	六十九

小學地理四

第一 總論

地球の表面

地球の表面は、水陸の兩界より成り、空氣をもつて、これを包む。

陸地の高低

陸地の面積は、およそ九百萬方里あり、海洋の面積は、およそ、その三倍に達す。陸地の表面は、各地、大いに、その趣を異にし、

海洋の深淺

南部アジャなるヒマラヤ山頂、海面上二萬九千尺の高所より、エルサレムの近傍なる死海シカイの水面、海面下千三百尺の低所に至るまで、その高低、常に一樣ならず。海底は、陸地の表面と異にして、その高低の變化、急激きやくならざれども、なほ、いたる所、深淺の差あり。ニュージーランドの東北、北海道の東南などには、深さ三萬尺内外に達する深所あり、大洋の中央にも、ま



水陸の分布

た、淺所の廣くあひ連る所あるなり。

氣界の現象

生物と天然との關係

地球の表面における、この水陸兩界の分布は、たがひにいりまじりて、廣きは大陸、大洋となり、狹きは島嶼、湖、海となり、その他、半島、岬、灣等、種々の形狀をあらはせり。これに加ふるに、地球の表面に對してはたらける氣界の現象は、また、すこぶる複雑にして、氣温の寒暖、雨、雪の多少等、その變化、常にきはまりなし。従つて、その間に生育する生物は、いづれも、天然の變化に適應して、おのゝ、その種類、形狀を異にし、おのづから、各地特有のものを生ずるに至れり。

人類と外界との關係

これと同じく、人類と外界との間にも、また、密接の關係あり。國の文野、強弱より、政治、産業、風俗、習慣、言語等に至るまで、みな、外界の影響を受けて、その間に、大いなる差別を生ずるなり。

地球の形成

山

山脈

り。  
されば、これより、さらに進みて、天然と人事と、たがひにあひ關するところに注意し、地球の表面と人類の生活との状態につきて、まとまりたる知識を興へ、かねて、本邦國勢の大要につきて、補習するところあらしめんとす。

### 第二 山脈 火山 附 地震、温泉

地球は、もと、非常に熱き火球なりしが、しだいに冷えて、その表面に地殻を造り、つひに、現今の有様となれるものなり。その冷ゆるや、しだいに縮りて、やうやく、地殻に皺を生ず。その高まりたる所を山といふ。されば、山は、孤立せずして、長くあひ連るを常とす。ゆゑに、山脈の名あり。その皺のある所、おの



火山

山脈形状の  
變化

づから、地殻に弱所を生じ、地球内部の熔岩よかん、これを破りて、地上に迸り出づることあり。これを火山といふ。これがために、山脈の形状けいじやうに、大いなる變化を與ふることあり。これに加ふるに、外界より、雨、風などの、これ等の山脈に對して、たえずはたらける結果は、過去かこ、無數の歲月の間に、よく、峯を削り、谷をうがちて、つひに、山岳あひ重れるが如き有様をなすに至れり。

わが國の山脈

本州四國九州の山脈

わが國は、本州中部において、幅はばもとも廣く、土地もとも高く、大いなる山脈、多く、こゝにあひ集りて、中には、一萬尺内外に及べる高峯のそびゆるもの少からず。御岳、乘鞍岳、赤石山などは、その著しきものなり。これより、西に向ひて、二條の並行せる山脈あり。一は、中國の中央を東西に走り、一は、紀伊半島

本州四國九州三大島の形成

北海道本島の山脈

臺灣の山脈

千島琉球の二列島

より、四國を経て、九州にいたる。また、東北に向ひて、三條の並行せる山脈あり。一は、奥羽の中央を過ぎて、本州の北端に達し、一はその西を走り、一はその東にわたる。この三條の山脈は、その間に、所々に平野ありて、土地、たがひにあひ連り、ともに、奥羽地方一帯の陸をなせども、中國、四國の兩山脈の間は、土地低く、水面以下に没ぼつする所ありて、瀬戸内海をなす。内海の水、三方より外海に通じて、四國と九州との二大島を本州より分離せしむ。北海道本島には、北端より、南端にわたりて、山脈、縦に走り、横にわたれる山脈、これに交りて、ほぼ、十字形をなす。臺灣には、島の形に従ひ、南北にわたれる山脈ありて、わが國第一の高山なる新高山、その中にそびゆ。また、千島、琉球の二列島は、海底を走れる山脈の、その頂いただきを海面上にあら



アジヤの山脈

はせるものなり。これ等の山脈は、みなわが國の地體の骨組たるものなれば、その方向に従ひて、わが國の地形、おのづから定まれり。  
アジヤにありては、パミル高原を中心として、山脈、四方に走り、東南には、世界最高のヒマラヤ山脈ありて、その最高峯は二萬九千尺に及び、東には、崑崙山脈、東北には、天山々脈、西南には、ヒンヅークシ山脈あり。天山々脈は、アルタイ山脈に連り、その脈、つひに、ベーリング海峡に終る。ヨーロッパにありては、アルプ山脈を最高とし、東の方、カルパチヤ、バルカン等の山脈に連り、南の方、アペニン山脈に連る。また、西南部にピレネー山脈、北部にスカンデナビヤ山脈、東境にウラル山脈あり。

ヨーロッパの山脈

南北アメリカの山脈

アフリカの山脈

オーストラリアの山脈

火山

南北アメリカのおもなる山脈は、ロッキーとアンデスとにして、いづれも、大陸の西岸に沿ひ、世界最長の山脈をなせり。東岸を走れる山脈は、西岸におけるもの、如く、著しからず。  
アフリカにありては、山脈、海岸に沿ひて、あひ連り、ほとんど、大陸を一周せり。中にも、西北部なるアトラス山脈、もとも著し。  
オーストラリアには、東岸に沿ひて、やゝ著しき山脈あれども、その最高峯も、わづかに、七千餘尺に過ぎず。これに反して、バプア、ニュージールランド等の諸島には、高山多し。  
火山は、地中より迸り出でたる熔岩などの、しだいに積み重りて成りしものなれば、通例孤立して、その形、圓錐狀をなし、頂上に火口を有し、麓に、長く、裾野をひけり。



わが國の火山

わが國には、火山はなほだ多く、すでに、世に知られたるもの、二百以上に達せり。それ等の中には、淺間山、阿蘇山などの如く、現に、火口より、盛に、水蒸氣すいじょうき、その他のがすを、煙の如く噴出するあり。あるひは、富士山、マッカリ岳などの如く、現に、その作用ようを休止せるあり。また、中には、年を経ること久しく、山の形、著しく變化し、わづかに、岩石の性質などを見て、なほ、その火山たるを知るを得べきものもあり。富士山の東南にそびゆる愛鷹山アシタカの如きは、その例なり。

火山脈

火山は、地殻の弱所に沿ひて、噴出したるものなれば、數多の火山列をなして、そびゆるを常とす。ゆゑに、火山脈の稱あり。伊豆七島より、箱根山、富士山、八岳などを連ぬる富士火山脈の如きは、ことに著しきものなり。富士山は、その形、もともよ

太平洋方面の火山

く整ひ、火山の形状けいじょうの標本ひょうほんと稱せらる。この外にも、わが國には、火山脈多く、霧島山、開聞岳など、九州南部の諸火山より、琉球、臺灣に連るもの、淺間、日光、那須等の諸山を経て、奥羽の中央を過ぐるもの、ロシアのカムチャッカ半島より來りて、千島列島を過ぐるもの、如きは、いづれも著し。

大西洋方面の火山

ひとり、わが國のみならず、すべて、太平洋岸に沿へる地方は、いづれも、火山に富めり。ロッキー山脈、アンデス山脈には、いづれも、名高き火山多く、フィリピン、ジャバ、ニュージールランド等の諸島、また、火山に富みて、火山脈は、ほとんど、太平洋を一周するの趣あり。洋中の諸島、また、火山より成れるもの多く、ハワイの如きは、もとも著し。大西洋の方面にも、また、アイスランドを始として、西印度諸島などに、名高き火山多く、地中海岸の

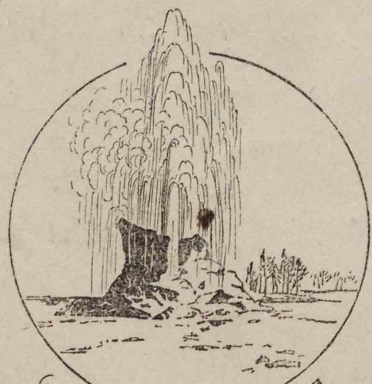


アフリカの火山

ベスピアス、エトナの如きは、古來、ことに有名なり。アフリカにては、東部の山脈中に火山多く、キリマヌチャロの如きは、ことに名あり。

温泉の分布

温泉とは、地熱のために暖められたる水の、地上に涌き出づるものをいふ。わが國の如く、火山多き所には、その數はなはだ多く、中にも、伊香保、箱根、熱海、山中有馬、道後、別府等は、ことに名あり。温泉の中には、熱海の如く、時期を定めて、水蒸氣、熱湯を噴出するものあり。これを間歇温泉といふ。その、アイスランドにあるものゝ如きは、高く熱湯を噴き上げて、すこぶる壯觀なり。



(アイスランド) 間歇温泉

間歇温泉

地震

地震は、火山の活動、または、地すべりに伴ひて起るを常とす。地すべりとは、地殻に、割れ目を生じ、地殻の一部、これに沿ひて、すべるをいふ。これに基ける地震は、その數多く、中には、すこぶる劇烈にして、廣く、その災害を及ぼすものあり。世界において、もとも、地震の多きは、太平洋ならびに、地中海の沿海地方等にして、わが國の如きは、ことに著し。

地震の多き地方

### 第三 河流 湖沼

河流

河流は、その源を高所に發し、ゆくゆく、四近の水を合せ、低所に向ひて、つひに、海に入るを常とす。その流るゝや、絶えず、兩岸と河底とを侵蝕して、砂礫、泥土となし、これを下流に運び、至る所に沈積す。通例、河の附近ならびに、河口に、平野の連



世界の最もなる河流

れるは、この沈積の作用に基けること少からざるなり。世界における、もとも長き河流は、ミシシッピ河にして、その長さ、わが信濃川の十六倍に餘れり。ナイル河、アマゾン河、揚子江、黒龍江、コンゴ河、黄河等、また、いづれも、一千里以上の長流なり。その他、ガンガ、チグリヌ、ユーフラト、ダニュープ、ライン等の河流は、いづれも有名なり。

わが國の河流

わが國は、その地形細長きが上に、山脈、中央に連りたれば、もとより、大陸に見るが如き大いなる河流なく、通例、急流をなして、舟航の便を缺くもの多し。されど、その水力を利用して、機械運轉の原動力となすべきもの少からず。川のもとも長きは、信濃、石狩の二川にして、いづれも、百里に近し。その他、北上、阿武隈、利根、木曾、淀、吉野、筑後等の諸川は、みな有名なり。

平野と住民

河流は、おほむね灌溉運輸の便に富み、その附近の平野は、地味、多くは、肥沃にして、農業、牧畜業等を起すに適するを常とす。されば、人類は、居を選びて、まづ、この地に集り、つひには、商業の盛なる都會起りて、政治、學術、宗教、交通の中心ともなるなり。ロンドン(人口四百六十萬)、パリ(二百七十萬)、ベルリン(百九十萬)、ウィーン(百七十萬)、モスコ(百十萬)、カルカッタ(百十萬)、漢口(八十萬)など、世界の都會は、多くは、みな然り。わが國にありても、東京(百七十萬)、大坂(九十萬)、京都(三十萬)、名古屋(二十萬)、廣島(十二萬)などを始として、各地の繁盛なる都會は、たいてい、また、河流に沿へる平野の中にあるなり。

平野と都會

湖沼

湖沼は、河流と同じく、たいてい、交通、灌溉の便あり。また、水産等の利ありて、人生に關するところ多し。従つて、その附近に、盛



鹹湖

淡水湖

わが國の湖沼

なる都邑の起ること少からず。中にも、シカゴ(百七)の如きは、もとも著しく、わが大津、松江の如き、また、この例なり。湖沼の中には、出口なくして、その水塩分を含めるものあり。これを鹹湖といふ。世界第一の大湖なる裏海は、その一にして、面積、わが國よりやゝ大なり。また、死海の如きは、その水、ことに、塩分に富みて、魚類等、これがために、生を保つを得ざるなり。淡水湖には、スベリオル湖、もとも大にして、面積、わが北海道本島に近く、ビクトリア、ヒーロン、ミシガン、バイカル等の諸湖、これにつぐ。

わが國第一の大湖なる琵琶湖は、その面積四十餘方里あり。霞浦、八郎潟、猪苗代湖、濱名湖、宍道湖、印旛沼、十和田湖、諏訪湖など、いづれも大なり。その他、北海道にも、大なるもの多し。

海岸線の變動

た、山間には、蘆湖、中禪寺湖、山中湖等の如く、ことに、風景に富めるもの、はなはだ多く、その中には、火山の舊火口に生じたるものも少からず。

第四 海岸

陸地と海洋との境界線を海岸線といふ。海岸線は、常に一定不變のものにあらず。河流、風、波等の作用によりて、海岸を侵蝕し、あるひは、こゝに、新地を造ることあり。また、時に、急激なる隆起、陥没の作用により、あるひは、緩漫なる土地の昇降によりて、海岸線に變動を來すことあり。關東、濃尾、大坂等の諸平野の形成は、泥砂の沈積作用によるものあれども、緩漫なる隆起に基くこと、また、はなはだ多し。



海岸線と交通との關係

海岸には、砂濱（しん）の、長く連れるあり、絶壁（ぜつ）の、高くそばだてるありて、その状、一樣ならざれども、概して、海岸線の屈曲（くつ）して、出入に富める所は、おのづから、海陸運輸の連絡（れん）を容易ならしめ、交通上の便宜（べん）多きものなり。従つて、その住民は、種々の事物に接して、おのづから、知識を増進し、分業も、また、その間に行はれやすきがゆゑに、國の文明を進むるに、大いなる利益あり。

各大陸の海岸

世界の六大陸中、海岸の出入のもとも多きは、ヨーロッパにして、北アメリカこれに次ぎ、アフリカはもとも少し。ヨーロッパの、著しく、文明に赴きたるに反し、アフリカの大部分が、なほ、野蠻の域にあるが如きは、その原因、一はこれによる。

海岸と都會

海陸の連絡にも、もとも便利なる海岸には、船舶、常に輻湊（ふく）して

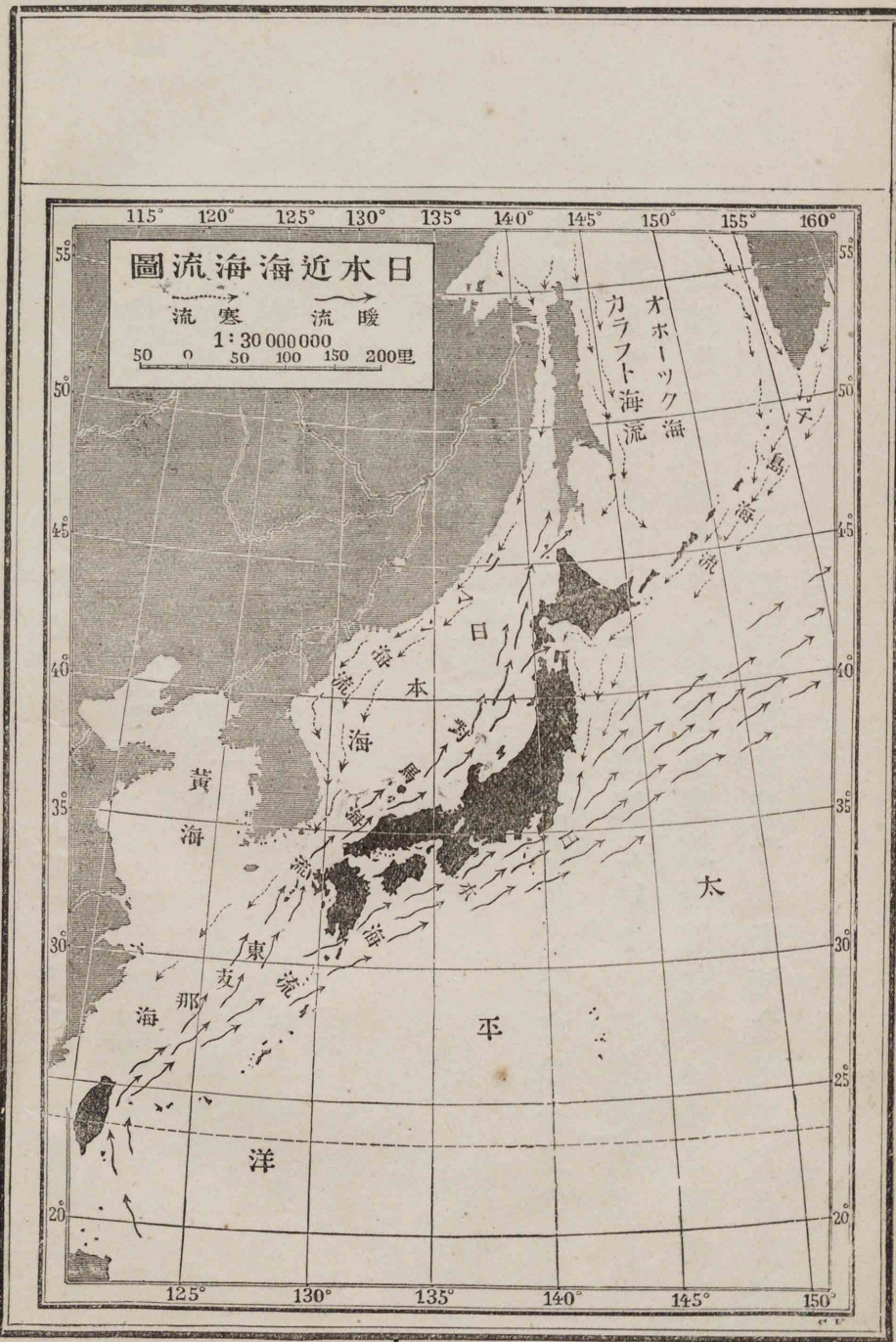
おのづから、貨物の集散地となり、こゝに、繁榮なる都會の起るを常とす。ニューヨーク（三百五十萬）、ボンベイ（八十萬）、マルセイユ（十五萬）の如き、みな然り。わが、横濱（三十萬）、神戸（二十萬）が、開港後、急に、繁榮に赴き、長崎（十五萬）が、古來、開港場として、常に、その繁榮を失はざるは、これがためなり。

### 第五 海流（かいりゅう）附潮汐（ちうし）

海洋には、なほ、陸上における河流の如く、海水の、一定の方向を取りて、流るゝあり。これを海流といふ。その水の溫度により、暖流、寒流の別ありて、氣候、水産、航海等に、大いなる關係を有す。わが國の近海には、日本海流、千島海流などあり。日本海流は、もとも著しき暖流にして、フィリピン群島の東より、北に

日本海流





對馬海流

向ひ、わが國の太平洋岸に沿ひて、東北に方向を取り、つひに、遠く、北アメリカの西岸に達す。その水、わが國の近海にて、こ  
とに濃き藍色を帶ぶるがゆゑに、一に黒潮といふ。その支流  
に對馬海流あり、九州の西岸より、日本海に入り、つひに、北海  
道の西岸に及ぶ。わが日本海方面の割合に寒からざるは、一  
は、これがためなり。

千島海流

千島海流は、寒流にして、一に親潮の名あり。カムチャッカ半島の  
近海より、千島に沿ひて、西南に向ひ、さらに、北海道本島の南  
岸より、奥羽の東岸に沿ひて、金華山の沖にいたる。この他、寒  
流には、オホーツク海の北部を西流し、カラフト島にいたり  
て、カラフト、リマンの兩海流に分るゝものあり。

メキシコ灣流

世界において、日本海流と、もにも、著しき暖流をメキ



潮汐

シユ灣流となす。この海流は、メキシコ灣より出で、大西洋を横ぎりて、ヨーロッパの西北岸に達す。西北ヨーロッパの諸國が、北にかたよれる割合に、その氣候の溫和なるは、この暖流の影響によるなり。

海水の運動には、海流の外に、また、潮汐の、一定の時間を隔てて、進退するあり。潮汐は、月に深き關係あるものにて、新月と満月との頃に、ことに、その干満の著しきを見る。されど、潮汐干満の差は、海陸の位置、海底の深淺等によりて、一樣ならず。わが國にては、有明海において、も、とも著しく、日本海岸には、おほむね、その差多からず。

潮汐のために、海峽に海水の流を生ずることあり。これを潮流といふ。わが瀬戸内海、の口をなせる鳴門、下關等の海峽に

潮流

は、ことに、その著しくあらはるゝを見る。

第六 氣候

氣象

空氣の溫度、風、雨等の現象を氣象といふ。氣象は、場所により、時に従ひて、その趣を異にし、日々、その變化、すこぶる多きを常とす。されど、月を積み、年を重ねて、これを觀測し、これを平均するときは、各地において、各時季に應じて、ほぼ一定したる空氣の溫度、雨量、風向等を知るを得べし。これ、すなはち、その地の氣候なり。

氣象と氣候

緯度と氣溫との關係

空氣の溫度は、おもに、太陽の熱に基くものにして、兩極地方より、赤道地方に進むに従ひ、しだいに、溫度の増加するを常とす。こゝにおいて、地球上に、緯度の高低によりて、寒帶、溫帶、



土地の高低  
と氣温との  
關係

風

熱帶の別あり。されど、氣温は、必ずしも、同緯度の地、常に同様なるものにあらず。土地の高低、また、大いにこれに影響し、低きより高きに上るに従ひて、氣温の、しだいに減少するを見るべし。されば、富士山に登るものは、盛夏の頃、なほ、綿入を用意し、赤道地方にても、キリマヌジョ山の如き高山の頂上には、年中、常に白雪を戴くなり。その外、水陸の分布、海流、風向等の氣温に影響すること、また、少からざるなり。  
風とは、空氣の流動する現象をいふ。空氣は、常に、温度の低き所より、高き所に向ひて、流るゝこと、あたかも、水の、高きより、低きに向ひて、流るゝが如きものなり。されば、風は、兩極の地方より、赤道の地方に向ひて、進むを常とす。されど、地球の表面には、また、これを妨ぐる種々の原因あるがゆゑに、必ずし

貿易風

も、各地、一樣なる能はず。ただ、赤道の南北三十度以内の海洋において、その、著しくあらはるゝを見る。これを貿易風といふ。この風は、地球の自轉のために、その方向を變ぜられ、北半球にありては、東北貿易風となり、南半球にありては、東南貿易風となるなり。

季候風

また、陸地は、海洋に比して、熱に感ずること早く、また、冷ゆることも早くして、寒熱の差多きものなれば、夏は、風、大洋より大陸に向ひ、冬は、風、大陸より大洋に向ふを常とす。これを季候風といふ。わが國には、冬季に、西北風多く、夏季に、東南風多し。これ、冬季には、アジャ大陸の内地より、太平洋に向ひて、空氣の流れ出づるに基き、夏季には、これに反して、太平洋より、大陸の内地に、空氣の流れ入るに基くなり。印度地方に、夏季、



海陸風

海洋性氣候  
大陸性氣候

わが國の氣  
溫

西南の季候風生じ、冬季、東北の季候風起るも、また、同じ理なり。  
また、沿海の地方には、一日の中に、風向の異なる海陸風ありて、晝は、海より陸に向ひ、夜は、陸より海に向ふ。これがために、大いに、氣溫を調和し、沿海の地方は、寒暑の差、割合には、なほ、だしからざるを常とす。かゝる氣候を、海洋性氣候といひ、これに反するを、大陸性氣候といふ。  
わが國は、冬季、大陸より來れる寒冷なる季候風を受くれども、大體において、その氣候は、海洋性にして、寒暑の差、割合に少し。臺灣の南部は、最熱の地方と稱すれども、一年中の平均溫度、攝氏の二十五度を上らず、最高の八月中の平均も、二十八度に達したることなし。また、最寒の地なる北海道の旭川

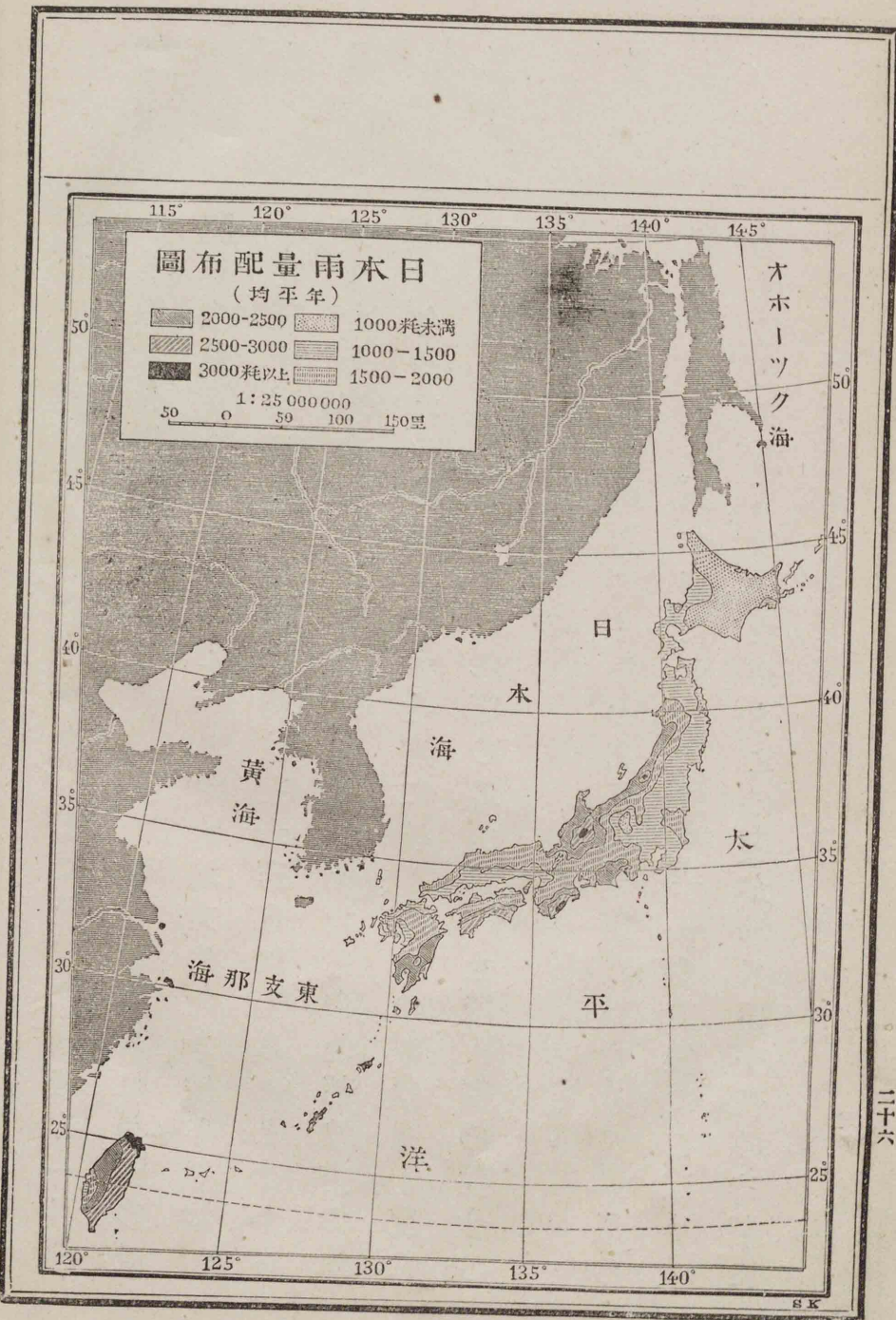
世界最熱の地

世界最寒の地

暴風

釧路の如きも、なほ、年中の平均、五度に過ぎず、最低の一月中の平均、氷點以下十度に下ること稀なり。しかるに、世界の最熱の地たるサハラ、アラビヤ、イラン地方の如きは、年平均、およそ三十度に達し、最高の時は七十三度に上ること少からず。また、最寒の地たるカナダ、シベリヤなどの北部地方の如きは、年平均、氷點以下十六七度に達し、最低の時は七十度以下ることあり。されど、これ等の地方にも、なほ、人類の住するものあるなり。  
季候風の吹く地方には、その交代の時期にあたりて、暴風の起ることあり。わが國において、二百十日の前後に、しばしば、暴風の災害あるは、あたかも、この頃が、季候風交代の時期にあたれるによるなり。





雨

わが國の雨量

雨は、水蒸氣の冷えて、集りて、水滴となり、地上に降るものなり。降雨の量は、海陸の分布、風の方向等により、各地みな、その趣を異にす。多く濕氣を含める風、山岳に出合ふ時は、これのために冷えて、その地方に、多量の雨を降し、これに反して、風陰の地は、通例、天氣快晴なり。わが國にては、夏季、東南季候風ありて、太平洋上より、多量の濕氣を運び來るがゆゑに、夏日、その方面に降雨多きを常とす。これに反して、冬季には、西北季候風の作用によりて、日本海方面に濕氣を運び、北陸地方をして、ことに、雪に名あらしむ。これに加ふるに、梅雨とて、初夏、久しきにわたれる降雨と、秋季、暴風の襲來に伴へる大雨とありて、各地、おほむね、降雨の量に富めり。中につき、雨量のことに多きは、紀伊半島、四國、九州の南部、濃飛高原、北陸の沿



海地方等なり。瀬戸内海附近の如きは、山脈、その前後に連りて、常に、濕風の來るを遮るがゆゑに、年中、割合に、降雨少く、從て、その地、製塩に適す。

かく、氣候は、各地、趣を異にし、その氣象には、種々の變化あれども、その變化は、みな、それぞれ、一定の理由ありて、然るものにして、決して、偶然に起るものにあらざるなり。されば、文明國には、たいてい、氣象臺、測候所などを設けて、日々、その變化を觀測し、廣く、各地の氣象を合せ考へて、天氣を豫報し、暴風雨襲來などのおそれある時は、あらかじめ、警報を發して、これを戒むるなり。わが國は、全國を十氣象區に分ちて、各地に、測候所を置き、さらに、中央氣象臺を東京に設けて、これを統べしむ。

氣象の觀測

第七 生物

生物の分布

熱帶地方の生物

生物は、地球上いたる所に分布すれども、土地の情況によりて、各地、その趣を異にするものあり。熱帶地方は、おほむね、氣温高く、濕氣多くして、植物よく生育し、椰子樹、芭蕉、榕樹等、ことに繁茂し、羊齒の如きは、その幹、のびて、喬木に類するものあるに至る。また、美味なる果實多くして、耕作の道知らざる野蠻人の、これによりて、その生を保つもの少からざるなり。動物には、象、犀、獅子、駝鳥、鱔魚等、巨大なるもの、猛惡なるもの、はなはだ多し。これに反して、寒帶地方は、おほむね、氣温低く、濕氣乏しくして、生物の發育よろしからず、極地に近づくに從ひて、しだいに、その種類を減じ、つひに、植物は、短小なる

寒帶地方の生物



温帯地方の生物

土地の高低と生物の分布

灌木、苔類等に限られ、また、稀に、白熊、馴鹿、海豹等の動物を、氷海、雪野に見るに過ぎざるに至る。温帯地方の生物は、熱帯地方におけるが如き巨大のもの少けれども、その種類はなほだ多し。植物には、松、杉、檜、樅等の森林に富み、花の賞すべきもの、實の味ふべきもの、いづれも、その種類に乏しからず。動物には、もともとも有用なるもの多く、牛、馬、羊、豚等は、いづれも、家畜として、盛に飼養せらる。かく、熱地より、寒地にいたるまで、生物の分布は、おほむね、その地の氣候によりて、おのづから定まれり。これと同様の事實は、また、低地より、高地に進むに従ひて存す。麓より頂上に登るに従ひて、植物の種類に變化あることは、高山に登りたる人々の、常に見るところなり。

各大陸特有の動物

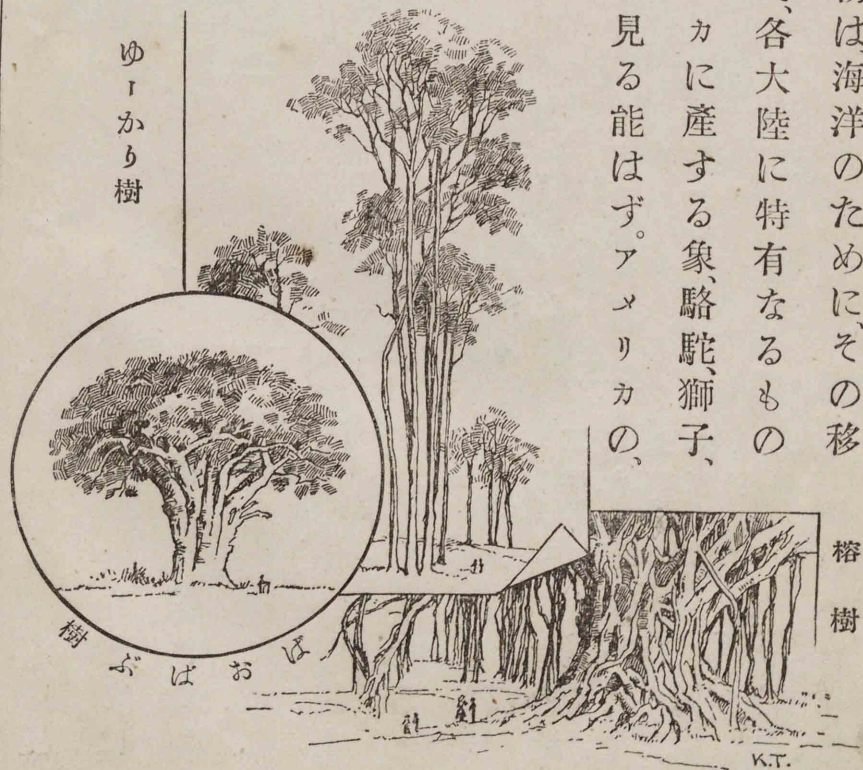


- 一 こんどる鳥
- 二 白熊
- 三 海豹
- 四 あるばか
- 五 馴鹿
- 六 びゅうま
- 七 じやうが
- 八 海狸
- 九 えみゆ

されど、さらに、こまかに、これを観察すると、きは、同じ氣候を有する地方の生物、必ずし



も、一様ならず。動物は、海洋のために、その移住を制限せられて、各大陸に特有なるもの多し。アジア、アフリカに産する象、駱駝、獅子、虎、犀等は、新世界に見る能はず。アメリカの、ピューマ、ジャガー、あるばか、海狸、こんどる鳥等は、他の大陸に見る能はず。オーストラリアのかんがる、鴨嘴獸、えみー等は、また、これを他



各大陸特有の植物

わが國の植物

に見出す能はざるなり。

植物には、アフリカのばおぶ樹、オーストラリアのゆーかり樹など、各地特有のものとして、ことに著しきものなりとす。植物は、その種子の傳播に、種々の途あれども、氣候の制限を受くることは、動物に比して、さらに多きものなり。されば、植物は、各地寒熱の差あるに従ひて、その種類、大小を異にすること、すこぶる著しきを常とす。

わが國は、その大部、北温帯に位し、地味肥沃にして、植物、よく發育し、古來、わが國人の主要食品たる米穀を始として、各種の穀物、よくみのり、つとに、瑞德國の稱あり。ことに、その地勢、細長くして、變化に富み、温暖の氣候なるが中にも、南北、おのづから、その趣を異にし、植物の種類に富めり。南部には、榕樹、



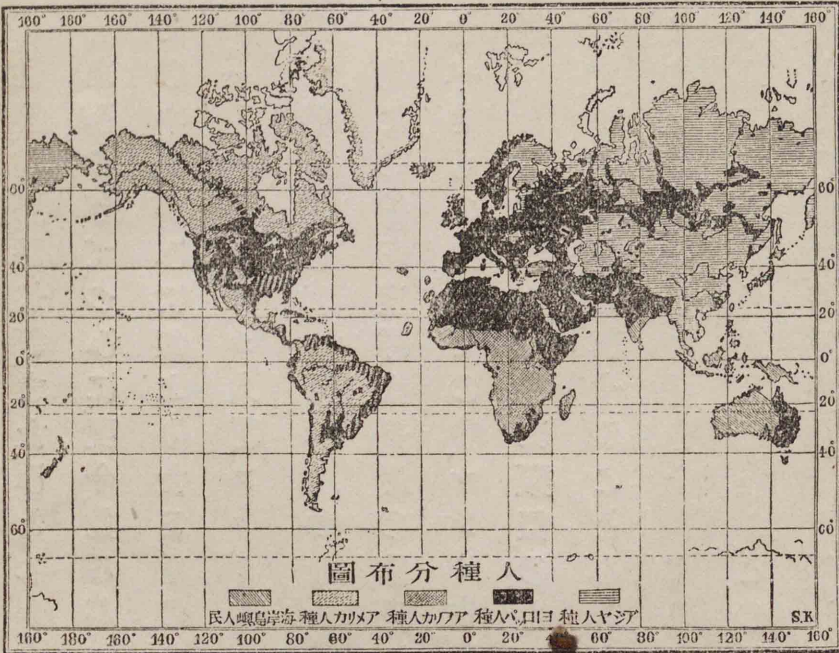
物が國の動物

蘇鐵、芭蕉、あなす等、熱帶性のものを生じ、一般に、樹木、よく繁茂せり。ことに、臺灣には、森林多く、その樟の林の如きは、世界、稀に見る所なり。中部にも、また、森林多く、松、杉、檜等を始として、各種の有用植物、よく生育す。中にも、松は、いたる所において、風景の美を添ふること、また、少からず。最北の地方、なほ、えぞまつ、とどまつ等の森林多し。動物は、その分布の状、明ならざれども、臺灣の水牛、琉球のはぶ、小笠原島の海亀、北海道本島の熊、千島の膾炙獸、獵虎等は、南北兩部によりて、その種類を異にするものなり。また、わが近海には、寒暖二流の來れるありて、はなはだ、魚類の種類に富めり。

第八 人種、人口附言語

人類

世界の人口



人類は、他の動物と異にして、知識に富み、よく、天然の障礙しがたに勝ち、各種の氣候に堪へて、廣く、各地に分布したり。されば、今や、地球上無人の境と稱すべき所、ほとんど稀にして、人類の數、およそ十六億に達せんとす。されど、各地、氣候、食物等を異にし、生活の状態、おのづから、その差あり、容貌ようばうたい、體



人種

格、性質、言語、風俗等、また、ひとしからず、子孫、ながく、その特徴を、あひつぎて、つひに、現今、見るが如き、數多の種族をなせり。その中、たがひに似よりたるものを合せて、アジヤ人種、ヨーロッパ人種、アフリカ人種、アメリカ人種の四人種を得たり。殘餘の諸種族は、オーストラリヤの内地、印度の南部、マライ半島、その他、印度洋、太平洋の諸島に住し、いづれも、特徴の認むべきもの少し。その中、マライ半島、マライ群島等に住する種族、ならびに、それ等に類似のものをマライ人種と稱することもあり。その皮膚、おほむね、褐色を帶ぶるがゆゑに、また、褐色人種といふ。この種族と、その他の諸種族とを總稱して、

マライ人種



(マバジ) 種人イラマ

海岸島嶼人民

アジヤ人種

ヨーロッパ人種



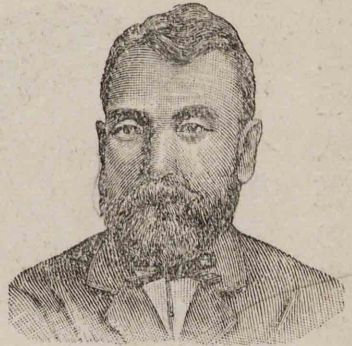
(支那人種) ヤジア

海岸島嶼人民と稱す。その數、わづかに、四五千萬に過ぎず。世界人類の大多數は、アジヤ、ヨーロッパの二人種に屬す。この二人種は、いづれも、優等なるものなり。アジヤ人種は、おほむね、その皮膚黄色を帶ぶるがゆゑに、一に、黄色人種と稱し、人口五億に及ぶ。アジヤをそのおもなる住所となし、ヨーロッパの東部、北部の、ある地方にも住す。その、支那地方の住民の如きは、四五千年前、すでに、文明の域に進み、東洋において、特殊の發達をなせり。

ヨーロッパ人種は、その皮膚白色なるを常とするがゆゑに、一に、白色人種の名あり。もと、ヨーロッパより、アジヤの西南部、ア



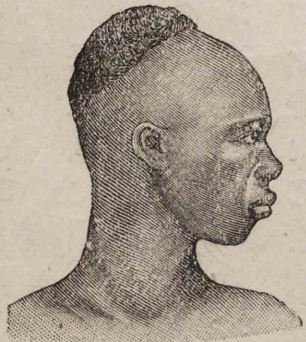
種 アフリカ人



(人スリギイ)種人バロヨ

ロバ人は、その開化、割合に遅かりしかども、近世、大いに發達して、アメリカ、オーストラリヤ、その他、アフリカの南部等に移住したるもの、また多く、その數、總計八億に達す。

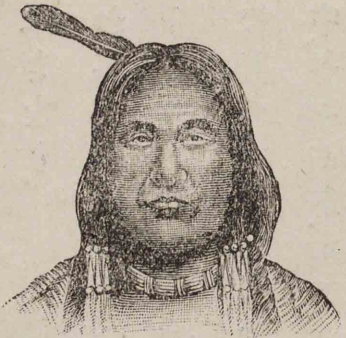
アフリカ人種は、その皮膚、黒色なるを常とし、黒色人種の名あり。アフリカの中部をおもなる住所となし、その數、お



(人土カリファ)種人カリファ

種 アメリカ人

種 わが國民の族



(人土カリメア)種人カリメア

よそ、一億五千萬ありといふ。今、なほ、多くは、野蠻の域にあれども、移されてアメリカにあるものは、文明の教育を受けて、その知識、すこぶる進みたり。

アメリカ人種は、その皮膚、おほむね銅色なり、よつて、銅色人種ともいふ。南北アメリカの土人にして、もと、廣く、その地に住したりしが、ヨーロッパ人の移住以來、大いに、住所を狭められ、あるひは、雜種を生ずるに至りたり。その數、千七百萬に過ぎず。

わが日本人は、アジヤ人種の中なり。その大部分は、すなはち、太古以來、一貫せる日本種族にして、上に、萬世一系の天皇を戴き、忠孝義勇の精神に富み、上下、よく一致して、國の隆盛を



あいのぬ人  
臺灣の漢人  
蕃人

なせり。また、かつて、他より歸化服屬せし人民の如きも、みな、これに同化して、ともに、善良なる國民となれり。この外に、北海道に住するあいのぬ人、臺灣に住する漢人、蕃人などあれども、日本種族の美風にならひて、また、しだいに、これに同化すべきなり。

わが國の人口  
わが國人口  
の密度

わが國の人口は、合計五千萬五千萬に近く、世界人口のおよそ三十分の一にあたる。その一方里の平均人口は、千八百人の割合にして、世界の平均人口に比して、およそ十一倍に達し、世界中、ベルギー、オランダ、イギリスの外は、一も、わが國の割合に及ぶものあらざるなり。

わが國人口  
の疎密

わが國の中にも、關東地方、濃尾平野、山城、大和、大坂等の諸平野、瀬戸内海附近、九州の北部、臺灣の西部等は、人口、ことに密

世界人口の  
疎密

なる所なり。これに反して、本州の日本海方面、奥羽、その他、四國、九州の南部には、人口少く、北海道と臺灣の東部とは、ことに疎なり。

さらに、世界人口の疎密を見るに、清國東部の平原、印度のガング河平原、ヨーロッパの諸國等は、一般に、住民密にして、南北アメリカには、おほむね、はなはだ少く、アジアの北部、オーストラリアの如きは、ことに疎なりとす。

各國の人口

世界の諸國の中につきて、人口の、もとも多きは、清國にして、その數四億に達し、ロシアは、これにつきて、一億三千萬に近し。また、ドイツ、イギリス、フランス等の各本國は、みな、わが國と大差なく、アメリカ合衆國には、ほとんど八千萬の住民あり。



言語

國語

世界の人類に種々の別あるが如く、その使用する言語にも、また、おのづから種々の別あり。また、同じ種類の言語も、人類が種々の國に分れ屬するに従ひて、種々の國語に分るゝなり。されど、その中には、オーストリア、ハンガリーの如く、一國中に十數種の言語並び行はるゝが如きもあり。これに反して、イギリス語、フランス語、ドイツ語、イスパニヤ語の如く、ひとり、自國にのみならず、廣く、他國にまで使用せらるゝが如きものもあり。

イギリス語

フランス語

イギリス語は、イギリス本國の外、アメリカ合衆國、その他、イギリス領の各地方に行はれ、また、世界商業上の用語として、ますます、その使用の範圍を廣むるの傾あり。フランス語は、フランス本國の外、ベルギー、スイスにも行はれ、ことに、西洋

ドイツ語

イスパニヤ語

諸國における上流社會の交際上、また、世界各國の外交上の用語として、多く用ひられ、ドイツ語は、オーストリア、スイスにも行はるゝなり。また、イスパニヤ語は、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカの大部分等、すなはち、イスパニヤ國が、むかし、盛なりし時、その殖民地たりし地方にも、今、なほ、廣く行はるれども、やうやく衰へつゝあるが如し。國盛なれば、その國語は、おほむね、廣く用ひられ、國衰ふれば、その國語は、また、從て衰ふるを常とす。

政體

### 第九 政治附兵備

世界の獨立國には、定まりたる君主を戴ける君主國と、人民より選ばれたる大統領を戴ける共和國とあり。また、憲法の



定むるところに従ひて政治をなす立憲國あり、君主の意志のまゝに政治をなす專制國もあるなり。わが國を始として、イギリス、オーストリア、ハンガリー、イタリヤ等は、立憲君主國にして、清、ロシア、トルコ等は專制君主國なり。また、フランス、スイス、アメリカ合衆國等の諸國は、いづれもみな、共和國なり。

わが國の政體

わが國には、今上天皇陛下、ふかく、國體のよりて來る所に、かゝるがみたまひ、國民の幸福を増進し、國家の進運を扶持したまはんとの大御心より、明治二十二年、紀元節の日をもつて、帝國憲法を發布したまひき。かくて、その翌二十三年、帝國議會を召集したまひしより、わが國は、東洋唯一の立憲國となり、人民も、また、政治に參與するを得るに至れり。これより、法律

帝國議會

は、帝國議會の協賛によりて、これを制定し、行政の事務は、すべて、法令の範圍内において、行政官廳これを行ひ、訴訟の事件は、法律によりて組織せられたる裁判所において、これを裁判することゝなれり。

帝國議會は、貴族院、衆議院の二つより成る。貴族院の議員は、(一)皇族、(二)公侯爵、(三)伯子男爵中より互選せられたるもの、(四)國家に勳勞あり、または、學識あるものより特に勅任せられたるもの、(五)各府縣の多額納稅者中より互選して、勅任せられたるものゝ五種より成る。その數、およそ三百人あり。衆議院の議員は、一定の選舉資格を有する人民によりて公選せられたるものにして、その數、三百七十餘人あり。行政官廳には、中央に、内閣の外、外務、内務、大藏、陸軍、海軍、司法

行政官廳  
中央政府



府縣  
郡市町村

文部、農商務、遞信の九省ありて、全國行政の事を分擔す。各省の長官を大臣といふ。各大臣は、國務大臣として、内閣に列し、内閣總理大臣、その首班となりて、各省の統一をはかる。地方は、北海道と臺灣との外を、三府、四十三縣に分ち、府縣に府縣知事を置き、各省大臣の指揮、監督を受けて、管下の行政事務を行はしむ。府縣は、さらに、これを分ちて、郡および市となし、郡は、さらに、これを分ちて、町村となす。すべて、およそ五百五十郡、五十七市、一千町、一萬三千村あり。郡、市に郡長、市長あり、町村に町村長ありて、おのゝ、管内の政務を行ふ。北海道と臺灣とは、他の地方と同一の施政をなし、難き事情ありて、ことに、道廳、總督府を置き、おのゝ、その管内の政務を行はしむ。道廳の下に十六支廳あり、總督府の下に二十廳あり。

北海道廳  
臺灣總督府

裁判所  
大審院  
控訴院  
地方裁判所  
區裁判所  
特殊の裁判所  
樞密院  
宮内省  
會計検査院

裁判所には、大審院、控訴院、地方裁判所、區裁判所の四階級あり。大審院は一箇所にして、東京にあり。控訴院は東京、名古屋、大坂、廣島、長崎、仙臺、函館の七箇所にあり。地方裁判所は、各府縣廳の所在地と、北海道の函館、札幌、根室とにあり。區裁判所は、全國を通じて、その數、およそ三百あり。下級裁判所の判決に服せざるものは、上級の裁判所に訴へ出づることを得べし。これ等の外、臺灣には、別に臺灣總督府法院あり、陸海軍人のためには、また、各軍法會議あり。

行政官廳の外、また、樞密院、宮内省、會計検査院などあり。樞密院は、天皇最高の顧問府にして、重要な國務を下問したまふ所なり。また、宮内省は、皇室に關する事務を掌り、會計検査院は、政府の會計を監督す。



兵備

兵備は、國家を護衛し、國威を發揚するに缺くべからざるものなれば、世界のおもなる諸國は、いづれも、力を盡して、兵制を革新し、意を軍器の改良に用ひざるはなし。

西洋諸強國の兵備

現今、陸軍常備兵のもとも、多きは、ロシヤにして、その數、およそ、百十萬ありといふ。また、ドイツには六十萬の兵員ありて、精銳なりと稱せられ、フランス、オーストリア、ハンガリー、イタリヤ、イギリス等の諸國は、兵數において、順次、これにつぐ。海軍のもとも、優勢なるは、イギリスにして、軍艦總計百九十萬噸に達し、世界無比と稱せらる。フランスには八十萬噸、ロシヤには六十四萬噸あり。ドイツ、イタリヤ、アメリカ合衆國等の諸國は、順次、これにつぐ。されど、もとより、兵員、軍艦の多少のみによりて、ただちに、兵力の優劣を定め難し。その國の

わが國の兵備

位置、その護るべき土地の廣狹等は、みな、兵備を要するの多少に關係し、ことに、兵力の強弱は、軍人の元氣如何に關すること、もとも、多きものなり。

わが國は、もと、軍人の階級定まり、家柄によりて、その職を世世に傳へしが、維新後、徴兵の制を設け、一般に、全國民中より、これを採用することゝなれり。その兵備は、明治二十七八年戰役後、大いに擴張せられて、今や、陸軍十三師團の多きに及び、軍艦、また、二十五萬噸以上に達して、世界強國の中に列するに至れり。

わが國の兵役

帝國臣民にして男子たるものは、滿十七歳より四十歳まで、ことごとく、兵役に服すべき義務あり。不具癡疾のものゝ外は、これを免ぜらるゝことなし。



兵役の種類

その兵役には、常備、後備、補充、國民の別あり。常備兵役は、さらに、これを現役と豫備役とに分つ。男子二十歳に達すれば、その身體を検査し、體格、藝能、職業等によりて、陸軍にありては、これを歩兵、騎兵、砲兵、工兵、輜重兵等に分ち、海軍にありては、これを水兵、機關兵等に分つ。海軍は、沿海地方、または、島の人  
民中より、これに適するものを徴するなり。かくて、その検査の成績と、抽籤の結果とによりて、これを現役、補充兵役、國民兵役の三種に分つ。現役の選に當れるものは、一定の年限の間、もっぱら、軍事教育を受けて、國防の任務に服す。現役の年限を終へたるものは、豫備役に編入せられ、在郷して、その役に服す。豫備役を終へたるものは、さらに、後備兵役に服し、後備兵役を終へたるものは、さらに、國民兵役に編入せらるゝな

陸軍の兵種  
海軍の兵種

現役

豫備役

後備兵役

國民兵役

補充兵役

り。補充兵役の選に當りたるものは、その種類によりて、短期間、軍事教育を受くるものあり、平常は、在郷して、その役に服し、一定の年限を終ふれば、國民兵役に編入せらるゝなり。また、人民は、その志願によりて、陸海軍の現役に服することを  
得。

志願兵

陸軍の配置

海軍の配置

陸軍の配置は、全國を十二師管に分ち、各師管に師團あり。別に、近衛師團ありて、宮闕の守衛に任ず。海軍は、全國の海岸と海面とを四海軍區に分ち、各區に軍港あり、鎮守府を設けて、これを管せしむ。また、要害の地には、要塞砲兵、警備隊あり。臺灣には、混成旅團を派遣して、陸上の守備に任ず。

第十 教育 神社 宗教



教育

教育は、人の知徳を増進し、その品位を高尙ならしむるものなれば、國民の教育の有無は、ひいて、國家の盛衰に關するところ、きはめて大なり。されば、世界の強國といひ、文明國と稱するもの、みな、力を、これにつくさざるはなし。中にも、ドイツ、イギリス、フランス、アメリカ合衆國等は、いづれも、教育はなはだ盛なり。

わが國の教育

わが國の普通教育は、徳川時代にありては、わづかに、寺子屋にて、讀書、習字等を教へしに過ぎざりき。しかるに、維新後、大いに、その普及に力を用ひ、今や、全國に、二萬七千の小學校ありて、國民に必要な教育を授くることゝなれり。その施設よく整ひたれば、山間僻地の兒童も、みな、時勢の進歩に伴ひて、普通の事理を解せざるものなきに至れり。

小學校

實業補習學校

各種の實業學校

高等の諸學校

その他の諸種學校

小學校の業を卒へたるものをして、簡易なる方法によりて、その職業に要する知識、技能を得しめ、かねて、普通教育の補習をなさしめんがためには、實業補習學校の設あり。さらに進みて、實業に關する高き教育を受けんとするものゝためには、農業、商業、工業等、また、それぞれ、その職業に應じて、實業學校の設あり。別に、中學校、高等女學校ありて、高等なる普通教育を授け、さらに、各種の専門學校、高等學校、帝國大學等ありて、高等なる教育を授く。また、教員養成のためには、高等師範學校、師範學校等あり。華族の教育には、學習院、華族女學校あり。この外、陸海軍將校の養成、船員の養成、盲啞の教育等に至るまで、各種の教育機關の施設、日に、ますます、進みつゝあるなり。



宗教

世界に行はるゝ宗教には、種々あれども、そのおもなるものは、佛教、キリスト教、マホメット教等にして、いづれも、もと、アジヤの一地方に起れり。

佛教

佛教は、今より、二千四百餘年前に、印度に起りし宗教にして、廣く、東洋の諸國に行はれ、わが國を始として、清國、印度支那等に、多數の信徒を有す。その數四億に餘れり。

キリスト教

キリスト教は、今よりおよそ千九百年前に、シリヤに起りし宗教にして、ヨーロッパ人種に屬するもの、主として、これを信ず。現今、ヨーロッパ、アメリカを始として、世界の各地に信徒を有し、その數五億に餘れり。

マホメット教

マホメット教は、その起原も、とも新しく、今よりおよそ千三百年前に、アラビヤに起れり。そのはじめ、兵力によりて布教し、

その他の諸宗教

一時、はなはだ盛なりしかば、今、なほ、アジヤの中部、西南部より、アフリカの北部に及びて、二億に餘れる信徒を有す。その外、印度に印度教あり、信徒の數二億に餘れども、單に、この地方にのみ行はれて、古來、他に及ばず。また、ヨーロッパ、アメリカ等の各地に散在せるユダヤ人のユダヤ教、ペルシヤ地方に行はるゝ拜火教、アフリカの土人間に多く行はるゝ拜物教などあれども、ほとんど、數ふるに足らず。

敬神の國風

わが國には、古來、皇室の御先祖を始め奉り、氏族各自の先祖、その他、國家に功勞ありし人々等を、神として祭り、ながく、その徳に報い、これを崇敬するの風あり。伊勢神宮は天照大神を祭り奉る。神社には、官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社、無格社ありて、その數、十九萬に餘れり。



わが國の宗教

わが國の宗教には神道、佛教、キリスト教あり。神道は神祇の信仰に基きて起れる宗教にして、十餘派の別あり。佛教には天台宗、眞言宗、淨土宗、臨濟宗、曹洞宗、眞宗、日蓮宗等の十餘宗ありて、これに屬する寺院七萬餘の多きに及べり。キリスト教は、三百五十餘年前に、すでに、その一派、わが國に傳はりて、一時、すこぶる行はれたりしが、後に、禁ずるところとなれり。維新後、ふたゝび、行はるゝに至りたれども、信徒の數、なほ多からず。

第十一 産業

人類未開の時代において、生活はなほだ簡易にして、衣食住に要するものは、ほとんど、その地方の天然物に仰ぐの有

自然と産業

様なれば、産業と稱すべきほどのものなし。されど、文明の進むに従ひて、生活に要するもの、ますます多きを加へ、つひに、種々の産業起るに至る。産業には、その種類多けれども、中にも、地理自然の状態に基き、文明の知識を應用して、利益ある方面に、天然の長所を利用するもの、も、ともよく發達す。肥沃なる平野に農業行はれ、有用礦物の所在地に鑛山業起り、原料と動力とを得るに便利なる地が、工業地として繁榮し、湖海に沿ひたる地方に、水産業の利を求むるが如き、みなこれなり。

農業

米

農業は、世界中、も、とも廣く行はるれども、各地、また、おのづから、その産物の種類、性質を異にす。米、茶、綿、こゝひの如きは、よく、暖地、熱地に適し、中にも、米は、アジヤの東南部より南部



綿茶  
 こーひー  
 麥  
 砂糖  
 わが國の農  
 業  
 米  
 麥

の地方に多く産出すれども、その品質に至りては、わが國産を第一とす。茶は支那、印度等に多く、綿は印度、アメリカ合衆國の産、もともあらはれ、こーひーは、ブラジル、中央アメリカ、アラビヤ等の熱地に多し。また、麥は、アメリカ合衆國、フランス、ロシア等の如く、温暖なる地方より、寒冷なる地方にわたりて、多く産す。砂糖には、ドイツ、オーストリア、ハンガリー等の温地に産する。甜菜糖と、ジャバ、キーバ等の熱地に多き甘蔗糖とあり。

わが國は、古來、農をもて國の本としたれば、農民の數はなほだ多く、種々の農産物に富めり。そのおもなるは、米、麥、茶等なり。米は新潟、兵庫、愛知、福岡、千葉等の諸縣にことに多く、その産額、全國を通じて、およそ四千萬石に達す。麥の産額は、およ

茶

牧畜業

そ、その半にして、埼玉、茨城、熊本、愛知等の諸縣には、なほだ多し。茶は、輸出品中、重要なるものゝ一にして、静岡縣にも、とも多く産すれども、内地向としては、宇治茶、ことに、品質の良きをもて、名高し。臺灣の北部地方にも、また、多く茶を産す。牧畜業は、もっぱら、廣き草野の地方に行はる。アメリカ合衆國、ロシア、ドイツ等には、多く、牛馬を牧し、オーストラリア、アルゼンチン等の羊毛は、ことに有名なり。わが國は、廣き草野に乏しく、かつ、古來の習慣によりて、毛織物の製造の盛ならざると、肉食の多く行はれざるとによりて、牧畜の業、いまだ、盛なるに至らず。全國を通じて、牛は、その數、やうやく、百二十萬頭に達し、馬は、百五十萬頭に及べるのみ。中にも、牛は、中國地方に多く、馬は、九州の南部と奥羽の東部に多し。



養蚕業

養蚕業は支那、イタリヤ、フランス等の諸國、いづれも盛なり。わが國は、また古來、その業、廣く行はれ、現今、まげ繭の産額、全國を通じて二百萬石、價額、およそ一億圓に達せり。中にも、長野、群馬、福島、の諸縣等、東山道の地方には、ことに盛に行はる。

鑛山業  
鐵  
石炭

有用鑛物には、金、銀、銅、鐵、石炭等、各種あれども、中にも、鐵、石炭は、もとも、實用に適し、アメリカ合衆國、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー等、みな、多く、これを産す。また、オーストラリヤの東部、アフリカの南部等には、金多く、メキシコの銀、イスパニヤ、チリの銅は、いづれも、その産額の多きをもて、名高し。されど、金、銀、銅を通じて、その産額の、いづれも、もとも多きは、アメリカ合衆國なり。また、この國は、ロシアとも、に、石油の産の、ことに多きをもて、あらはる。

銀金

石油

わが國の鑛産

銅

石炭

金

鐵銀

石油

水産業

わが國の鑛産は、いまだ、多しと稱するに足らざれども、各種の鑛物、たいてい備はり、中にも、銅と石炭とは、産額、すこぶる豊にして、現今、わが國の需用を充して、なほ、餘あり。銅は、足尾別子、阿仁等の諸鑛山にも、もとも多く、その産額、全國を通じて、およそ七百萬貫あり。石炭は、福岡、佐賀等、九州北部の諸縣と北海道とにも、もとも多くして、全國の産額、六百三十萬噸に及ぶ。また、金は、鹿兒島縣の諸鑛山、佐渡の金山等に多く、北海道は、砂金の産に富み、銀は、秋田、岐阜等の諸縣に多し。また、鐵は、釜石の近傍に多く、新潟縣には、石油の産地に富みて、近時、いづれも、その採掘の業、大いに進みたれども、その産額、いまだ、内國の需用を充すに足らざるなり。水産業は、世界沿海の地、いづれも、多少行はれざるはなし。中



工業

綿糸織物

にも、ニューファンドランド、ノルウェーの近海と、わが北海道の近海とは、ともに、世界の三大漁場と稱せらる。ことに、わが國は、四方に、海をめぐらし、寒暖二流を受けて、水産の利はなほだ大なり。その、もとも多きは北海道にして、千葉、静岡、山口、長崎等の諸縣これにつき、鯡、鰯、鱈、鮭、鰻、石花菜、昆布等、その産額、いづれも多し。また、瀬戸内海の沿海地方は、各地、製塩業盛にして、赤穂、三田尻等、その名、もともあらはる。各種の工業は、文明の諸國、いづれも競ひて、これが隆盛をはかりつゝあり。中にも、イギリスは第一の地位を占め、ドイツ、また、近年、大いに、隆盛に赴けり、スイスの如きは、山間の小國なれども、なほ、工業國として、その名、世にあらはる。各種の製作品中、綿糸織物は、イギリス、アメリカ合衆國、ドイツ、フラン

鐵の製品  
びる  
葡萄酒

わが國の工業

生糸

ス等の諸國、いづれも、多くこれを産し、ことに、フランスは絹織物に名高し。また、鐵の製品は、これ等の諸國、ならびに、ベルギーに多く、ドイツのびる、フランスの葡萄酒は、いづれも、その産額の多きと、品質の良きとをもて知らる。わが國は、古來、美術的工藝、すこぶる進歩し、織物、漆器、陶器等、いづれも、精巧なる製品を出せり。これに加ふるに、近來、西洋より種々の器械を輸入し、大規模の工場を設けて、いたる所に煙突の高く立てるを見るに至り、各種の工業、年を逐ひて、盛大に赴けり。製作品のおもなるものには、生糸、綿糸、各種の織物、陶器、漆器、紙、酒、まら、疊表等あり。生糸は、長野、群馬、福島、埼玉等の諸縣に多く、中にも、諏訪の地方には、その製造、もとも盛なり。その産額は、全國を通じて、毎



綿糸  
織物

年、およそ百七十萬貫に及び、輸出品中の第一位を占む。また、綿糸は、大坂、東京、岡山、神戸、名古屋等の地方に、いづれも、盛なる紡績工場ありて、全國の製品、合計、三千萬貫に餘れり。絹織には、京都の西陣織、福井の羽二重、その他、桐生、足利の製品等、もとも著しく、全國産出の價額、七千萬圓の多きに及ぶ。また、木綿織は、各地にこれを産すれども、中にも、愛知縣、大坂府、埼玉縣等に、もとも多く、全國を通じて、六千萬圓に及べり。

陶器

漆器

紙類

陶器には、瀬戸焼、美濃焼、有田焼、京焼、九谷焼等、いづれも、その産額多く、漆器には、黒江塗、京塗を始として、静岡、石川等の諸縣の産額、いづれも著し。また、紙類は、高知、岐阜、愛媛等の諸縣に、もとも多くして、土佐紙、美濃紙、伊豫奉書等、名高く、西洋紙は、東京府、静岡縣等に、盛なる工場あれども、なほ供給を外國

酒類

まっち

疊表類

鐵工業

商業の發達

に仰ぐこと、はなはだ多し。酒類には、灘の清酒、もとも名高く、全國の産額四百萬石以上に達し、東京、大坂、札幌等の地方には、盛なるびーるの工場あり。また、まっちの工場は、神戸、名古屋、大坂等の地方に、もとも多く、疊表、花筵の類は、大分、廣島、岡山、福岡等の諸縣に、もとも多し。この外、造兵、造船等、各種の鐵工業、また、しだいに進歩し、所々に、大いなる造船所、鐵工所等の設立を見るに至れり。

### 第十二 商業

商業は、有無あひ通じ、需用供給の媒介をなすものなれば、世の文明に進み、分業の發達するに従ひて、しだいに、隆盛に赴くべきものなり。ことに、近世、交通機關、大いに發達し、遠隔の



わが國の商業

地も容易に往來するを得るに至りたれば、文明國たがひに、  
 修好通商等の條約を結びて、廣く外國貿易に力をつくし、そ  
 の業、著しく發達したり。外國貿易のもとも盛なるはイギリ  
 スにして、毎年輸出額、およそ八十億圓あり。これにつぐを  
 ドイツ、アメリカ合衆國、フランス等となす。オランダは小國  
 なれども、商業ことに盛にして、輸出入額、毎年三十億圓以上  
 に達し、ベルギーの如きも、なほ十五億圓に達せんとす。  
 わが國は、古來、商人の社會における地位は、なほだ低く、從つて、  
 商業盛ならざりき。ことに、徳川時代には、久しく鎖國の方針  
 を取りて、國人の海外に出づるを禁じ、外國人も、わづかに、オ  
 ランダ人、支那人に限りて、長崎に來り貿易するを許したる  
 に過ぎざりしかば、外國貿易は、見るべきもの少かりき。しか

わが國の條約國

公使館

るに、維新前後より、廣く、海外諸國と條約を結び、交通の機關  
 も、また、しだいに整ひしかば、外國貿易、内國商業、ともに、その  
 面目を改め、商業家の社會における地位、また、高まるに至れ  
 り。

現今、わが國と條約を結べる諸國は、すべて、二十三國あり。ア  
 ジヤ洲には、韓、清、シム、の三國、北アメリカ洲には、アメリカ合  
 衆國、メキシコ、の二國、南アメリカ洲には、ペルー、ブラジル、ア  
 ルゼンチン、の四國、アフリカ洲には、エング、獨立國あり。ヨー  
 ロッパ洲の諸國は、たいてい、文明の域に進みて、商業、おほむね  
 盛なれば、トルコと、バルカン半島北部の諸小國との外、おも  
 なる諸國は、いづれも、みな、わが條約國なり。これ等の條約國  
 には、たいてい、その首府に公使館を置き、また、ことに、わが國



領事館

開港場

輸出入額

輸出品

と關係深き要地に、領事館を置けり。現今、その數、公使館十五、領事館およそ七十あり。公使、領事を派遣して、修好、通商等に關する事務にあたらしめ、兼ねて、在留本邦人の保護をなさしむ。また、國內にては、横濱、神戸の二港を始として、大坂、長崎、門司、淡水、下關、函館、口津、安平、基隆等の四十餘港を開きて、貿易場となし、今や、輸出入總計、年額、およそ六億圓に達す。中にも、横濱、神戸の二港は、もとも盛にして、輸出入總額の、ほとんど八割は、みな、この二港を經由するなり。従て、その市街繁榮にして、開港後、いまだ、四十年内外に過ぎざれども、今や、いづれも、三十萬内外の人口を有し、三大市につげる大都會となりたり。

輸出品のおもなるものは、その總價額、およそ七千萬圓に達

輸入品

内國商業の  
二大中心

交通の諸機  
關

する生糸を第一とし、羽二重、綿糸、石炭、銅、ま、ち、茶、米等、これにつぐ。輸入品のおもなるものは、およそ六千萬圓の綿を始として、砂糖、各種の鐵製品、石油、米等、これにつぐ。その輸出品は、アメリカ合衆國、香港等に向ふもの、もとも多く、輸入品は、イギリス、アメリカ合衆國、印度、ドイツ、清國等より來るもの、もとも多し。

内國商業は、交通の機關整ふに従ひて、ますます發達し、各地商業の中心たるべき都市は、いづれも、しだいに、繁盛に赴けり。中にも、大坂、東京は、内國商業の二大中心たり。

### 第十三 交通

交通の機關は、土地の情況と文明の程度とによりて、一樣な



鐵道

らざれども、そのおもなるものは、汽車、汽船、郵便、電信、電話等なり。

鐵道は、今より、七十餘年前、始めて、イギリスの一地方に敷設せられしより以來、大いに進歩して、今は、各大陸、その設あらざるなきに至れり。中にも、ヨーロッパの諸國、アメリカ合衆國の東部等には、いづれも、ことによく發達して、その線路、網の如く交れり。また、北アメリカには、太平、大西の兩大洋を連ぬる數條の鐵道あり。シベリヤ鐵道は、東の方、東清線トシセンに連り、西の方、ヨーロッパの線路に接續して、アジヤ、ヨーロッパの兩大陸を横ぎれり。世界各國中、線路の延長、も、とも長きは、アメリカ合衆國にして、およそ二十萬哩マイルに及び、その、も、とも發達したるは、ベルギー、イギリスにして、一方里の面積につき、鐵道一

わが國の鐵道

哩以上を有する割合なり。

わが國の鐵道は、明治五年、東京、横濱間に、敷設せしに始りしかども、明治二十年の頃には、なほ、線路の延長五百哩に過ぎざりき。しかるに、その後、急に進歩して、今や、ほとんど四千五千百哩の長きに達せり。中にも、その幹線かんせんたるべきものは、あひ連絡して、九州の南端より、北海道本島の北端にいたらんとす。されど、その便の、ことによく整ひたるは、ただ、關東、濃尾、畿内等の諸平野のみなりとす。これを全國の面積に比すれば、六方里につき、鐵道一哩の割合に敷設せられたり。その線路のおもなるものは、官設線、日本、關西、山陽、九州、北海道炭礦の五大鐵道會社線等なり。この外、私設にかゝるもの、また、多けれども、いづれも、おほむね、一小地方に限らる。

おもなる諸線路



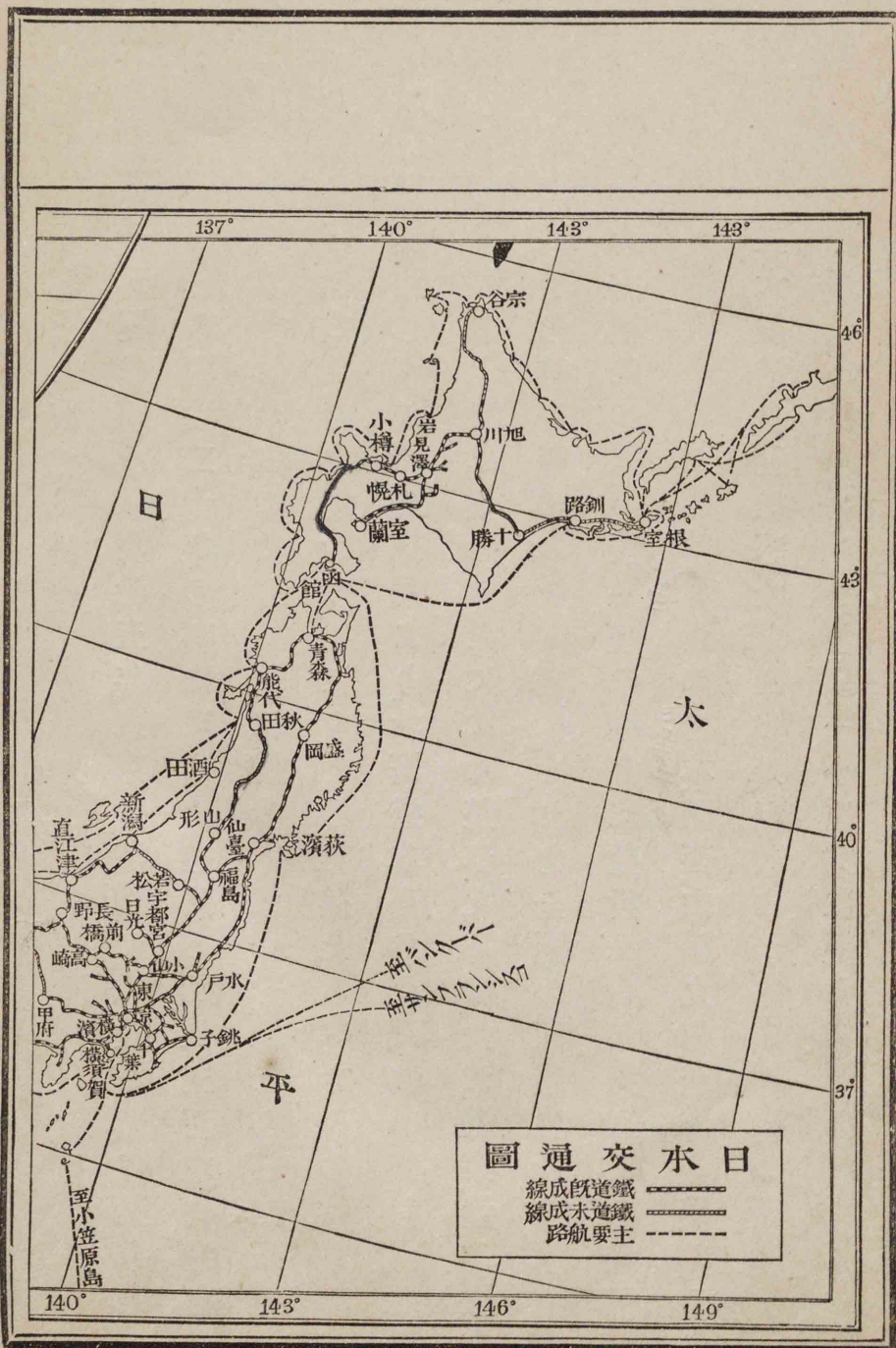
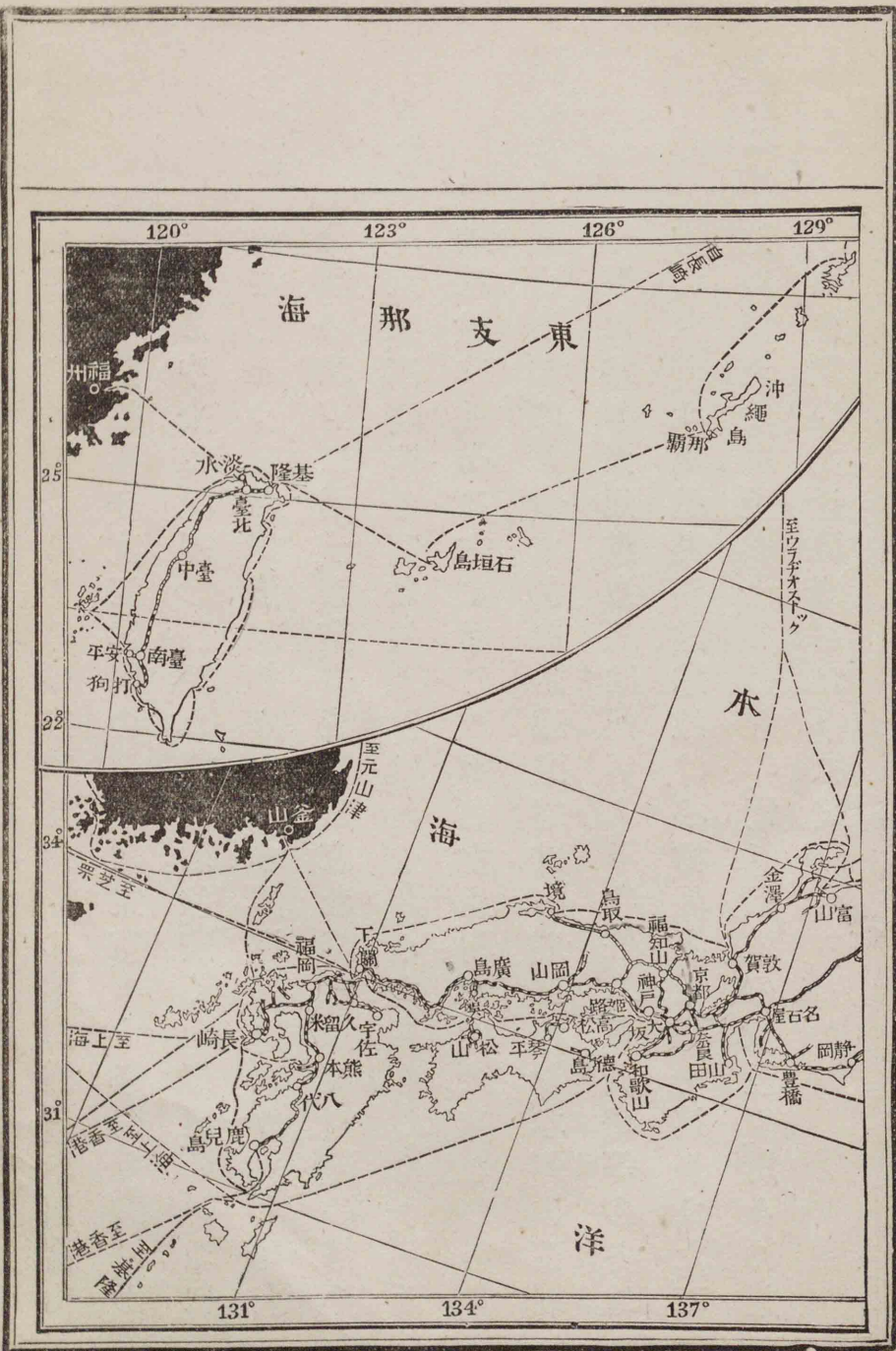


圖 通 交 水 日

線成既道鐵 ————

線成未道鐵 - - - - -

路航要主 - - - - -



官設線

日本鐵道線

關西鐵道線

その他の諸鐵道線

電氣鐵道

官設線のおもなるものは、東京、神戸間の東海道線、米原、富山間の北陸線、高崎、直江津間の信越線、東京、名古屋間を連ねんとする中央線、奥羽の西部なる奥羽線、廣く北海道の各地に通ぜんとする北海道線等なり。日本鐵道線は、もばら、本州東北部の地方に通ず。東京、青森間の東北線、東京、岩沼間の海岸線、東京、高崎間の高崎線などは、そのおもなるものなり。關西鐵道線は、近畿地方に通じ、大坂、名古屋間を連ぬるものをおもなるものとす。また、山陽鐵道線は、神戸に起り、本州の西端下關に終り、九州鐵道線は、門司より、宇佐、八代、長崎等の各地にいたり、北海道炭礦鐵道線は、小樽、札幌、室蘭を連ね、また、石狩の諸炭山に通ず。この外、近年、電氣鐵道の敷設も、所々に起り、短距離の交通機關、しだいに發達せり。

汽船

わが國の航海業

汽船の發明は、今より、およそ百年前なりしが、その後航海術の發達と、造船業の進歩とに伴ひ、航路、大いに開け、今や、世界の各港、ほとんど、通ぜざる所なきに至れり。中にも、太平洋を横ぎりて、横濱、上海、香港、シドニー等と、バンクーバー、サンフランシスコ等とを連絡するもの、印度洋を過ぎ、スエズ運河を経て、アジヤの東岸諸港と、ヨーロッパ諸港とを連絡するもの等は、いづれも、世界のおもなる航路なり。航海業の、もとも盛なるは、イギリスにして、これ等の航路にあつる汽船の、ほとんど半數は、その所有にかゝる。ドイツ、アメリカ合衆國、フランス等、これにつぐ。

わが國は、徳川時代に、鎖國の方針を取りて、大船の製造を禁じたる程なりしかば、その、海國たるにかゝはらず、航海業は



きはめて振はざりき。しかるに、外國との交通開けてより、汽船をもつて航海すること、やうやく、盛になれり。その航路は、日本近海より、しだいに、東洋の諸港に及び、今や、遠く、ヨーロッパ、アメリカの諸港にまで延長せり。これ等の航路を通へる汽船は、日本郵船、大坂商船の二大會社の所有にかゝるものをおもなるものとし、横濱と神戸とは、海運の二大中心なり。航路のおもなるものには、この二大中心より、北海道、琉球、臺灣等々にいたるものゝ外、朝鮮、ウラヂオストク、支那、印度、オーストラリア等に通じ、また、遠く、スエズ運河を経て、ヨーロッパにいたるもの、太平洋を横ぎりて、北アメリカのシヤトル、サンフランシスコにいたるもの等あり。全國を通じて、汽船の數、およそ一千艘、六十萬噸に達し、大いに、海運發達の氣運に向

## 郵便

へり。この外、また、多數の帆前船ほまへせんありて、常に、航海の業に従事す。されど、なほ、わが輸出入貨物のおよそ三分の二は、イギリス、ドイツ等、諸外國の船舶によりて、運ばれつゝあるなり。郵便は、およそ三十年前、ベルンにおける萬國郵便聯合の同盟成りてより、これに加入する諸國多く、大いに、その便を増せり。わが國には、明治四年、始めて、郵便の制を實施してより以來、しだいに發達して、いかなる山間僻地にも、通ぜざるなきに至れり。また、明治十年、萬國郵便聯合に加盟してより、廣く、萬國に通ずることゝなれり。

## 電信

電信の發明は、鐵道よりも少しく後れたれども、今は、各大陸、ほとんど、通ぜざる所なきに至れり。海底電信線には、大西洋を横ぎるものを始として、わが長崎より、上海、香港、シンガポ



電話

わが國の電信電話

ール等を経て、ヨーロッパに通ずるものなどあり。近時、さらに、サンフランシスコより、フィリピンにいたるものを沈設して、つひに、電信線は、全く、世界を一周するに至れり。また、電話の、世界文明諸國の都市に、盛に使用せらるゝあり。

わが國の電信は、明治二年、始めて、東京、横濱間に架設せしより以來、しだいに發達し、明治十二年には、萬國電信聯合に加盟し、今や、國內の各地はもとより、廣く、海外に通信の便を有することゝなれり。また、主要なる都會には、電話交換局の設あり。長距離電話も、また、やうやく發達しつゝあり。

### 小學地理四終

明治三十六年十一月廿四日印刷  
 明治三十六年十一月廿五日發行  
 明治四十三年四月廿三日翻刻印刷  
 明治四十三年四月三十日翻刻發行

著作權所有

著作兼發行

文部省

定價金七錢五厘

明治四十四年三月廿六日  
 文部省檢査濟

(一七五二)

翻刻發行

日本書籍株式會社

代表者 大橋新太郎

印刷者

東京市神田區裏神保町壹番地 龜井忠一

印刷所

東京市神田區三崎河岸拾二號地 三省堂印刷部

發賣所

東京市日本橋區新右衛門町拾六番地 株式會社 國定教科書共同販賣所



